

## 2020年度 長野県岡谷東高等学校シラバス

教科	芸術	科目	ピアノ伴奏法	単位数	2	学年	3	コース	教養フロンティア
								必修・選択	選択（E群）
使用教材	教科書	（学校設定科目）							
	副教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>●標準バイエルピアノ教則本（全音楽譜出版社） ※経験者も授業用に購入すること。子どものバイエルでは不可。</li> <li>○バイエルよりもグレードの高いエチュードに進んでいる者は、その教則本を持参。</li> <li>○音楽科で作成した資料 および 楽譜</li> </ul>							

### 学習目標

- 幼児教育・保育・福祉系の進学準備で求められる「バイエルピアノ教則本 80番程度」のピアノ実技に対応できる技量を養成する。  
 ○応用課題としては、基本的なコードネームの構成音を読解し、段階的学習によりピアノの即興演奏にも対応できるようにする。

### 学習方法

- バイエルピアノ教則本を順番に進め、考査間を目途に進行状況を確認します。  
 ○考査間を目途に「課題Ⅰ」「課題Ⅱ」「課題Ⅲ」「課題Ⅳ」「課題Ⅴ」の5つの身近なメロディーを題材として段階学習。  
 「右手～左手ベース音付～左手コード付き～左手伴奏付」へと段階的に学習して完成度を確認します。（毎時、スタンプラリーを実施）

### 学習評価

○次の四つの観点に基づき、学習内容のまとめりとごとの下の評価マトリクスにより評価を行い学年末に5段階の評定に総括します。

<b>①関心・意欲・態度</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業日程を把握し、計画的に課題に取り組む姿勢があるか。</li> <li>○積極的に授業に参加できているか。</li> <li>○必要とされる知識を自ら調べ、整理しようとする意欲があるか。</li> </ul>
<b>②思考・判断・表現</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○作曲家や編曲者の意図について理解し、演奏に反映しようとしているか。</li> <li>○楽譜に書き込まれた情報を正確に読み取り、的確に表現できているか。</li> <li>○ファイルを用いて授業資料や楽譜を順番に整理できているか。</li> </ul>
<b>③技能</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○正しい演奏姿勢、運指で楽器の演奏に臨んでいるか。</li> <li>○楽譜に忠実で、丁寧な演奏を心掛けているか。</li> <li>○ただ単に音を並べるだけでなく、表現力豊かな演奏ができるか。（実技を伴う評価は、録音・録画を行います）</li> </ul>
<b>④知識・理解</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○題材の作曲家や、作品の背景について理解できているか。</li> <li>○楽譜に書き込まれた情報を正確に読み取ることができているか。</li> <li>○施設・楽器・演奏補助具等の使用法やマナーについて理解し、大切に使用できているか。（片付けも含む）</li> </ul>

評価方法\観点	評価の観点				備考
	①	②	③	④	
出席状況	◎				
学習記録の記載・提出	◎	◎			学習記録表
課題の達成度		◎	◎	◎	スタンプラリー
実技	◎	◎	◎	◎	VTR録画

※表中の◎は観点の中でより重視するポイントです

※それぞれの評価の観点はA、B、Cの三段階で評価します。

### 学習方法等のアドバイスなど

- 「音楽」は「音を楽しむ」と表記しますが、授業という「学びの場」では「音学」になります。楽しいハズの「音楽」が「音学」になれば、必然的に「音が苦（手）」になってしまいます。 学び、苦しみ、それが克服できると「本当の楽しみ方」が分かってくるのだと思います。
- 授業に欠席しないこと。実技科目は積み上げ学習ですから、欠席すると分からなくなります。
- 授業時のNGワードは「こんなの無理!」。最後まで諦めないで腰を据えて取り組むこと。
- 芸術科目は「失敗」を重ねることにより上達します。「失敗」を恐れずに頑張らしましょう。

## 年間学習計画

学期	学習内容[時間数]	学習のねらい	学習活動 【評価方法】
1学期	<p>○オリエンテーション [1 h]</p> <p>○バイエルピアノ教則本 ○応用課題「Ⅰ」 [13 h]</p> <p>○バイエルピアノ教則本 ○応用課題「Ⅱ」 [13 h]</p>	<p>○幼児教育・保育・福祉系の進学準備で求められる「バイエルピアノ教則本80番程度」のピアノ実技に対応できる技量を養成する。</p> <p>○応用課題としては、基本的なコードネームの構成音を読解し、段階的学習によりピアノの即興演奏にも対応できるようにする。</p>	<p>・本シラバスの読み合わせ～周知徹底 ・年間の授業計画</p> <p>・各自の進度によりバイエルピアノ教則本の練習。 ・課題の段階的学習を進める。 ・①右手でメロディー+②左手でコードの根音+③左手でコードの構成音+④左手で伴奏付け～ ・段階的学習は随時確認～スタンプラリーを実施。 ・「課題Ⅰ」は、1学期末までに完成させること。</p>
2学期	<p>○バイエルピアノ教則本 ○応用課題「Ⅲ」 [13 h]</p> <p>○バイエルピアノ教則本 ○応用課題「Ⅳ」 [13 h]</p>	<p>○幼児教育・保育・福祉系の進学準備で求められる「バイエルピアノ教則本80番程度」のピアノ実技に対応できる技量を養成する。</p> <p>○応用課題としては、基本的なコードネームの構成音を読解し、段階的学習によりピアノの即興演奏にも対応できるようにする。</p>	<p>・「課題Ⅱ」は、2学期末までに完成させること。</p>
3学期	<p>○バイエルピアノ教則本 ○応用課題「Ⅴ」 [17 h]</p>	<p>○幼児教育・保育・福祉系の進学準備で求められる「バイエルピアノ教則本80番程度」のピアノ実技に対応できる技量を養成する。</p> <p>○応用課題としては、基本的なコードネームの構成音を読解し、段階的学習によりピアノの即興演奏にも対応できるようにする。</p>	<p>・「課題Ⅲ」は、3学期末までに完成させること。</p>